

きらり

すてきな いきかた かんがえよう



岡崎市テレワーク体験プログラム参加女性受講風景

『テレワーク』

メールや電子会議システム、ICT(情報通信技術)を活用した、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方のこと。テレワークは働く場所によって、自宅利用型テレワーク(在宅勤務)、モバイルワーク、施設利用型テレワーク(サテライトオフィス勤務など)の3つに分けられます。

も く じ

- 今さら聞けない女性活躍ってなんだろう? P2~4
- 岡崎市男女共同参画推進サポーター「すいか隊」活動報告 P5
- 令和元年度「岡崎市男女共同参画推進事業所表彰」の受賞事業所紹介 P6
- 令和元年度 岡崎市男女共同参画課 その他事業一部紹介 P7

今さら聞けない 女性活躍ってなんだろう？

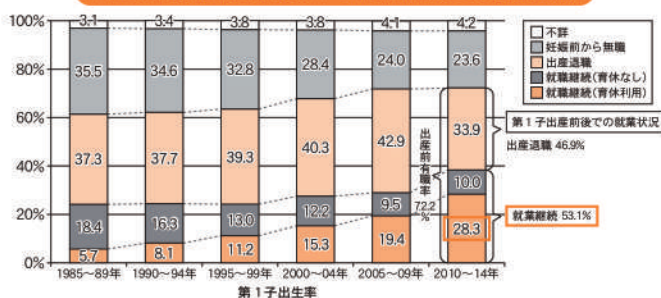


近年、女性活躍というフレーズは、インターネット、テレビ、新聞、雑誌などあらゆるところで頻繁に取り上げられています。

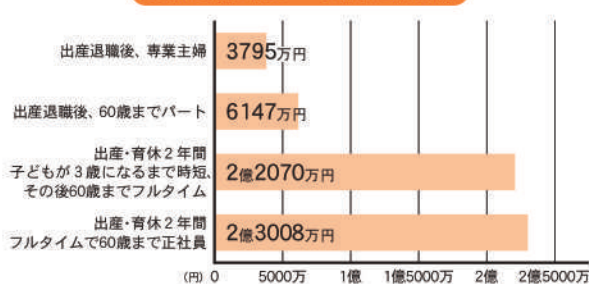
現在、第1子出産を機に、4割以上の女性が離職しています。また、育児が落ち着いて再就職する場合でも、パートなどの非正規雇用労働者として働くケースが多く、女性労働者の半数以上が非正規雇用労働者として働いています。女性が一旦離職後に非正規雇用労働者として再就職する場合と、離職せず継続して就労する場合では、生涯賃金に2億円の差が出るとも言われています。

このため、すべての女性が輝く社会の実現のため、平成28年4月1日に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」が全面施行されています。

出産前有職者に係る第1子出産前後での就業状況



女性の働き方ケース別生涯所得



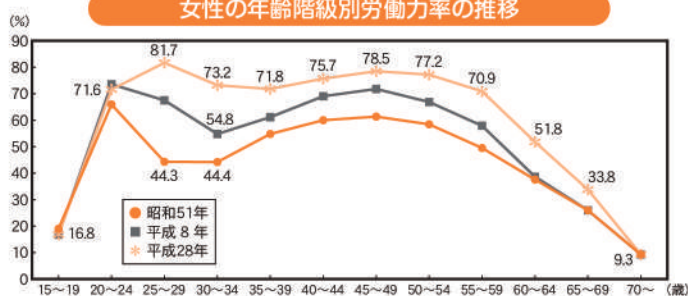
出典：「ニッセイ基礎研究所」基礎研レポート2017年2月号より
※60歳で退職、出産年齢は第1子31歳、第2子34歳

女性労働力率のM字カーブとは？

女性の労働力率(15歳以上の人口に占める労働力人口の割合)は、結婚・出産期に当たる年代に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇する傾向にあります。女性の労働力率をグラフ化したとき、その形がアルファベットの「M」の字を描き、この曲線をM字カーブといいます。

近年、全国的にはM字の谷の部分の部分が緩やかになってきていますが、本市ではまだM字カーブの谷は深く、出産・育児を機に就業を中断する女性が多くいることが予想されます。

女性の年齢階級別労働力率の推移



(備考) 1. 総務省「労働力調査(基本集計)」より作成。
2. 労働力率は、「労働力人口(就業者+完全失業者)」/「15歳以上人口」×100。



女性活躍推進法で社会はどう変わるのか!?

女性活躍推進法では、働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できるよう、女性の職業生活における活躍を推進し、豊かで活力ある社会の実現を目指すこととしています。



【女性活躍推進の基本原則】

- ◆女性に対する採用、昇進等の機会の積極的な提供及びその活用と性別による固定的役割分担等を反映した職場慣行が及ぼす影響への配慮が行われること
- ◆職業生活と家庭生活との両立を図るために必要な環境の整備により、職業生活と家庭生活との円滑かつ継続的な両立を可能にすること
- ◆女性の職業生活と家庭生活との両立に関し、本人の意思が尊重されるべきこと

積極的な女性の採用や昇進等により、責任ある時間を通じてやりがいを感じながら働き、女性ならではの視点や柔軟な発想を十分に発揮できる社会となります。そのためには、女性活躍推進と併せて、長時間労働の見直し、短時間勤務や柔軟に取得できる休暇制度の制定、男性の家事・育児・介護などに対する参画など、ワーク・ライフ・バランス推進を社会全体で取り組む必要があります。

女性活躍推進とワーク・ライフ・バランスに関する取組

国や自治体では、女性活躍推進やワーク・ライフ・バランスを推進する企業に対し、「くるみん」、「えるぼし」などの認定制度や、優良企業表彰などを行っています。企業は認定など受けることで、自社のイメージアップ、企業PR、各種優遇制度等のメリットを得ることができます。



厚生労働省 くるみんマーク、プラチナくるみんマーク
「子育てサポート企業」



厚生労働省 えるぼし
「女性の活躍に関する取組の実施状況が優良な企業」



経済産業省・東京証券取引所 なでしこ銘柄
「女性活躍に優れた上場企業」



愛知県ファミリー・フレンドリー・マーク



愛知県 ファミリーフレンドリー、あいち女性輝きカンパニー
「従業員のワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業」
「女性の活躍促進に向けての取組を行っている企業」

女性活躍で期待されるテレワーク



テレワークとは、メールや電子会議システム、ICT（情報通信技術）を活用した、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方です。岡崎市では、女性就労支援のためテレワークを推進しています。



今年度は、女性と企業に対しテレワークについてのスキルアップ、インターン（就業体験）を支援する、テレワーク体験プログラムを実施しました。



岡崎市テレワーク体験プログラム 参加企業受講風景

テレワーク体験プログラム参加企業インタビュー

- Q1. なぜテレワーク体験プログラムに参加しましたか。
Q2. 貴社にとってのテレワークの魅力を教えてください。
Q3. 貴社におけるテレワークの今後の方向性を教えてください。



服部工業株式会社

【業種】製造業 【住所】岡崎市羽根町字若宮30番地

A1. グループ事業所で働く女性は、全体の7割を占めるようになりました。育児や家族の介護が必要な状況でも、働き方を工夫することにより、やりがいを持って仕事を続けられるモデルを作りたいと思ったからです。



A2. グループには多種多様な業種の事業所があり、テレワークは働く人の知識や経験を活かすことができます。テレワークを含め様々な働き方を取り入れることで柔軟な働き方を実現し、幅広い人材活用が可能になります。

A3. 個人のライフスタイルに合わせた就労方法を提案していきます。育児や介護など家庭と仕事の両立、出張等で職場を離れていても情報を共有する働き方もあります。男女問わず、多様な働き方を目指しています。

まざりんプランツ

【業種】サービス業 【住所】岡崎市連尺通3丁目4番地

A1. 少子高齢化のため慢性的な人材不足が続く中、出産直後から乳児を預け働くことを希望する母親が増えてきました。こどもと暮らす生活を大切に仕事ができる環境を提供するためです。



A2. 「こどもと暮らす」を軸に人と人、人とまちをつなげる活動を実施しています。テレワークの特徴を地域の困りごとに活かし、つなげることでより多くの方が役割を担い生きがいを見出すことができる点です。

A3. 子どもの成長に伴い母親のライフスタイルは変化しています。それぞれの家庭状況に合った働き方を提案することで母親を中心とした地域の人々のいきいきと活躍するコミュニティ、まちを創造していきます。

岡崎市男女共同参画推進サポーター



すいか隊活動報告



すてきな いきかた かんがえよう の「すいか隊」です。

わたしたちは『すべての人が平等で、お互いに認め合い協力できる社会』をめざして活動しているボランティア団体です。



★出前講座★

※2019/7/13 本宿学区社教女性部「鍋布団をつかった非常食作り」

女性部みなさんお手製の鍋布団で、非常食作りに挑戦！

メニューは「とりハム」「スープパスタ」「りんごのコンフォート」。
とりハムは8分煮て火からおろし鍋布団をかぶせ30分！子どもたちに人気でした。



※出前講座のメニューが増えました！

出前講座新メニュー「ライフラインが止まった時のインスタント食品の食べ方」や「できることから始める防災～多様な価値観を認める～クロスロードゲーム」もどうぞお試しください！

★すいかプロジェクト「話してみなけりゃわからない！ 地域での日本人と外国人の共生」★

※2019/11/16 「多言語支援センター立ち上げ訓練(六名小学校)」に参加



「足湯」を介して外国人の方や、地域の方たちとコミュニケーション！
足湯を介した、言葉だけではないコミュニケーションは、性別、年齢、国籍を問わず、誰もが誰にでも行える国境を越えた災害支援です。今後も積極的に行っていきたいと思います。

※2019/12/15 「地域での日本人と外国人の共生」交流会主催！

地域で活動されている方たち15名でVivaおかざき!!の長尾さんのお話をきいて、外国人の方たちとのコミュニケーション方法や心配なことを話し合い交流を深めました。この日の驚きは「大半の外国人は英語は通じなくて、1番通じるのは、分かりやすい“やさしいにほんご”」で、具体的にゆっくり説明することもポイントだそうです。災害時には、言葉や文化の違いが障害になります。日頃から地域の交流を深めて理解をし、多様性を認めていくことで、非常時にお互いを支え合うことができます。まずは地域の絆を大切にいきましょう！



すいか隊隊員募集中！



地域で活動したいと考えている学区・町内グループ等の各種団体の講座をバックアップしています。

上記で紹介しました他にも楽しくてためになる出前講座を実施しています！

- ★男女共同参画について
- ★ワーク・ライフ・バランスについて
- ★HUG(避難所運営疑似体験)
- ★DIG(災害図上訓練ゲーム)
- ★非常食作り
- ★脳トレ、地域の皆さんとの交流など

まちづくりや地域社会活動に興味があるかた大歓迎！

ホームページは「すいか隊」で検索してお問い合わせください！

令和元年度「岡崎市男女共同参画推進事業所表彰」の受賞事業所紹介



写真左から株式会社A.I.、内田市長、
あいち三河農業協同組合【敬称略】

岡崎市では、男女共同参画社会の更なる推進を目的に、女性の活躍や仕事と家庭の両立、いわゆるワーク・ライフ・バランスなど、性別に関わりなく誰もが働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる市内事業所を表彰する制度を平成30年度から実施しています。

令和2年1月15日に「令和元年度岡崎市男女共同参画推進事業所表彰」が行われ、受賞事業所2社の代表者が市長から表彰を受けました。

これまでに表彰された事業所の取組内容については市ホームページ(岡崎市男女共同参画推進事業所表彰で検索)でご覧いただけます。

表彰事業所の取組紹介

五十音順

あいち三河農業協同組合

業種：総合農協

所在地：岡崎市坂左右町字葦ノ部18-1



- これまで女性がいなかった副支店長、課長補佐などの管理職や金融部門の渉外担当に女性を積極的に配置するなどし、女性の活躍を推進している。
- 幹部養成基礎研修や女性職員キャリアマネジメント研修といった育成研修があり、女性を積極的に派遣するなど、人材の育成を図っている。
- 残業時間を月ごとにデータ化し、多い部署には総務部門から業務改善を図るよう指導している。
- 社員の家族や地域住民も含めた交流事業を実施し、地域・家族間のコミュニケーションを図っている。

株式会社 A.I

業種：サービス

所在地：岡崎市羽根町字鰻池70番地3
Tステージ岡崎ウイングタワー20F



- メインスタッフが男性多数であった飲食部門へ女性店長やマネージャーを新たに設置するなど、女性の管理職登用及び職域拡大に積極的に取り組んでいる。
- 男性の育児休業取得について、該当者には育児休業取得のメリットを伝えるなど取得しやすい雰囲気づくりに努めている。その結果、過去に男性育児休業取得者有り。
- 働き方についてのアンケートを実施し、社員のニーズ把握、意見の吸い上げを行うなど、働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいる。
- 有給休暇取得促進のため、休暇表を作成し社員が計画的に取得できるよう努めている。

令和元年度 男女共同参画課その他事業一部紹介



ママたちの就職説明会 in 岡崎

女性の再就職支援

令和元年12月13日に子育て世代の再就職支援を目的に、ママ・ジョブ・あいち(あいち子育て女性再就職サポートセンター)と共催で就職説明会を開催しました。仕事と家庭(子育て)の両立に理解があり、女性の活躍に積極的な企業6社が出展し、企業PRや個別相談会を実施。参加者は将来の再就職に向け採用担当者と積極的に話を交わしました。

参加者からは、直接採用担当者と話げできたことで、再就職の際の参考となったとのこと意見が多数寄せられました。



マザーズ・job cafe

働きたい女性のための就労支援

令和元年5月23日、10月10日、令和2年1月21日に、働く意欲のある女性の不安の解消と就労促進を目的とするマザーズ・job cafeを実施しました。あいちマザーズハローワークと共催し、情報交換会を兼ねた気軽に集える座談会と、あいちマザーズハローワークの職員による個別相談を行いました。



★あいちマザーズハローワークとは?★

子育てしながら就職を希望する方を中心に就職支援を行うことを目的とした国の無料職業紹介機関です。職業紹介やキャリアカウンセリング、各種セミナーなど実施。お子様連れでも利用しやすい施設となっています。詳しくは『あいちマザーズハローワーク』で検索!



中学生向け男女共同参画出前講座

若い世代への男女共同参画推進

平成31年4月17日、翔南中学校2年生を対象に、性別にとらわれない職業選択をテーマとした出前講座を実施しました。男女共同参画って何だろう?といった話から始まり、ゲストティーチャー3名の職業を当てるクイズを実施。その後、ゲストティーチャーから職業選択の理由や職場の様子について話を聞きました。生徒たちからは、性別に関係なく自分らしさを大切にして職業を選んでいきたいといった声が多数あがりました。



その他にも、男女共同参画・女性活躍推進に関する事業を実施しています!

働き世代応援男性料理教室

～「健幸おとう飯」でみんなを笑顔に!～

開催!!

12月7日(土)岡崎げんき館で「働き世代応援男性料理教室～「健幸おとう飯」でみんなを笑顔に!～」を開催しました。

「健幸おとう飯」とは、内閣府が推進する、料理が苦手な男性でも気軽に作れる「おとう飯」に、健康で元気に幸せに暮らす「健幸」の要素を加えた、岡崎市独自の取組です。

今回のメニューは、野菜たっぷりの「餃子」、出汁を効かせて塩分を抑えた「肉じゃが」、キノコの旨みが入った「旨みそ汁」等、健康に配慮した献立を作りました。

調理後は、「健幸おとう飯」を応援する、「健幸おとう飯サポーター宣言」を参加者全員で行いました。

参加者からは、「作ったことのない料理を作れて良かった」、「色々と話を楽しく出来た」、「減塩料理の必要性を感じた」、「また参加したい」等、男性の家事参画への関心の高まりを感じる言葉がありました。



健幸おとう飯レシピ紹介

減塩肉じゃが

材料(4人分)

牛薄切り落とし肉 160g
じゃがいも(小) 2個
人参 1/2本
玉ねぎ(小) 1個
さやいんげん(冷凍) 12枚
サラダ油 小さじ1
鰹一番出汁 600cc
しょうゆ 大さじ1
さとう 大さじ1
酒 大さじ1



smart
wellness
city スマートウェルネスシティ

①じゃがいもは皮をむいて4つ切り、にんじんは一口大の乱切り、玉ねぎはくし形に切る。

②肉は食べやすい大きさ4cm位に切る。

③鍋に油を熱し、中火で肉、玉ねぎ、じゃがいも、にんじんを入れ、炒める。

出汁、しょうゆ、さとう、酒を加え、落とし蓋をして10分ほど煮る。



【岡崎市健康・食育
キャラクター まめ吉】

男女共同参画情報誌



すてきな いきかた かんがえよう

令和2年3月 発行通巻25号

編集・発行／岡崎市社会文化部 男女共同参画課

〒444-8601 岡崎市十王町二丁目9番地

TEL 0564-23-6222 / FAX 0564-23-6626

E-Mail danjo@city.okazaki.lg.jp